

現代経営学演習(2026 年度)

詳細シラバス

担当: 西村成弘

s-nishimura@phoenix.kobe-u.ac.jp

1. 現代経営学演習の目標・テーマ

現代経営学演習(ゼミ)では、専門職学位論文(修士論文)の作成に向けた指導を行います。修士論文の作成を通して、職場における実務的な課題に対して独自の論点を設定し、一定の学術的な研究手続きによって分析と考察を行うことができるようになることを目標とします。

職場における実務的課題は(社会現象一般も)複雑かつ多面的ですが、そのような課題をすべて解明し解決策を導いてくれるような万能の理論はありません。むしろ、一定の枠組みあるいは視角から分析を行うことによって、問題がクリアに浮かび上がってきます。本ゼミでは、経営戦略や技術経営の枠組みあるいは視角から、実務的課題の解明を進めていきたいと思います。また、チャレンジングですが、経営史学で用いられる枠組みを援用することもできると思います。対象とする実務的課題や経営理論の歴史性を解き明かしながら修士論文の作成に取り組むことは、論文に深みを加えるだけでなく、実践的にもより普遍的・長期的な効果をもたらすことにつながると考えています。

2. 演習の進め方

修士論文完成までのプロセスには一定の型があります。まず、よい論文を書くには、よい「問い」を発見すること、これが何よりも大事です。関連する先行研究や資料の批判的検討を通して、各自の問題意識を研究すべき「問い」へと昇華させていきます。次いで、「問い」から論点を設定し、リサーチプロポーザルを作って調査・分析し、論文へとまとめていきます。このうち、2026 年度のゼミでは、各自のリサーチプロポーザルの完成を目指します。

しかし、研究はそんなにリニアに進むものではありません。いったん設定した「問い」でも、さらに検討を進めていくと改善すべきところが出てきます。場合によっては、「問い」自身を大きく変更する必要があることもあります。つねに「問い」ながら、同時に先行研究や資料の検討を行い、さらに「問い」を研ぎ澄ませてゆくという往復作業が必要になります。この往復作業がどれだけ、どのような深度でできるかが、よい論文になるかどうかの成否にかかわってくると考えています。ゼミは 1.5 カ月に 1 度程度しかありませんが、インターバル期間においても、常に新しい論文を探し、文献を読み、問い続けるようにしてください。ゼミはあくまでも自分の研究のペースメーカーという位置づけです。

また、論文を書くことは孤独な作業で、自分との闘いです。しかし、1 人で書いては、MBA で学ぶ意味はありません。修士論文作成のプロセスをゼミ生で共有しあい、お互いに意見を戦わせて知の共同体を作りたいと考えています。具体的には、ゼミ生 1 人ずつに研究発表をしてもらい、全員参加の討論を通して、お互いにアイデアを共有します。ゼミ教員もコメントをしますが、多様な知識を持つゼミ生による相互の討論が、よい論文を完成させるうえでは大いに力になると思います。

3. スケジュールと課題

【Day 1】現代経営学演習①～⑤

2026 年 9 月 12 日(土)

1-2 限: 自己紹介および研究テーマの発表

自己紹介と、現時点での研究テーマについて、質疑応答を含めて 1 人 10 分で発表してもらいます。事前に下記の項目について記した PPT 資料を準備してください(BEEF+):

- 1) 自己紹介
- 2) 現時点での研究テーマ
- 3) その背景となった実務的な課題
- 4) リサーチクエスチョン
- 5) 暫定的な結論と課題解決との関連

3-5 限: 修士論文報告会(ポスターセッション)に参加

実際に M2 の先輩が取り組まれた修士論文の成果をみて、1-2 限で発表した自分の研究テーマ、リサーチクエスチョンなどどのように違うのか(あるいは同じなのか)をまとめてレポートにして提出してもらいます(BEEF+)。

【Day 2】現代経営学演習⑥～⑩

2026 年 10 月 10 日(土)

1-5 限: 研究テーマと先行研究に関する報告

各自の研究テーマ(9 月 12 日のゼミで発表し、コメントを受けたもの)を起点として、関連する先行研究(学術論文、学術書)を検索し、読み込む作業を行ってください(往復作業)。先行研究の検索と読み込みは、必ず実物を見て行ってください。ゼミでは、研究テーマ(ブラッシュアップされたもの)と主な先行研究の内容について、質疑応答も含めて 1 人 30 分程度で発表してもらいます。事前に、下記の項目について記した PPT 資料を準備してください(BEEF+):

- 1) 研究テーマ
- 2) 先行研究のまとめ(先行研究は 3 件程度)
 - ① タイトルと著者属性、収録雑誌または出版社(書誌情報)
 - ② アブストラクト
 - ③ リサーチクエスチョン
 - ④ その論文または著書が依拠している理論、主な先行研究
 - ⑤ どのようなデータに基づいているか
 - ⑥ 主な結論

【Day 3】現代経営学演習⑪～⑮

2026 年 12 月 5 日(土)

1-5 限: 研究テーマと方法論に関する報告

社会科学は、対象となる社会的なことからについて分析を行い、客観的な(誰が見ても同じような)事実を導き出し、確定させていく営みです。そのために必要なものが研究方法論で、導き出された事実の「確からしさ」を担保するものです。しかし、方法論は 1 つしかないわけではなく、各自の存在論、認識論(明確に認識している人は少ないと思いますが)、研究対象にもとづいて選択し、うまく運用する必要があります。ゼミでは、どのような方法論があり、どれを選択するべきなのかについて学びます。各自の研究テーマにもとづき、質疑応答も含めて 1 人 30 分程度で発表してもらい、議論しようと思います。事前に、下記の項目について記した PPT 資料を準備してください(BEEF+):

- 1) 研究テーマ(ブラッシュアップされたもの)
- 2) 先行研究の方法論(10 月 10 日に報告したものでもよいが、④⑤に重点を置くこと)
 - ① タイトルと著者属性、収録雑誌または出版社(書誌情報)
 - ② アブストラクト
 - ③ リサーチクエスチョン
 - ④ 用いられている方法論
 - ⑤ 方法論の適否について必読文献を用いて考察

必読文献:

野村康(2017)『社会科学の考え方ー認識論、リサーチ・デザイン、手法ー』名古屋大学出版会。

佐藤郁哉(2021)『ビジネス・リサーチ(はじめての経営学)』東洋経済新報社。

参考文献:

岡崎哲二(2022)『経済史・経営史研究入門ー基本文献、理論的枠組みと史料調査・データ分析の方法ー』有斐閣。

【Day 4】現代経営学演習⑯～⑳

2027 年 2 月 13 日(土)

1-5 限: リサーチプロポーザルの発表

3 月以降は実際に修士論文作成のための対象の調査と分析が始まります。どのようなテーマで、何をどのように調査し、どのような結論を導くのかについて、しっかりしたビジョンが必要になります。2026 年度の演習のまとめとして、リサーチプロポーザルを報告してもらいます。質疑応答も含めて 1 人 30 分程度で発表してもらい、議論しようと思います。事前に、下記の項目について記した PPT 資料を準備してください(BEEF+):

- 1) 研究テーマ
- 2) 問題意識・その背景となった実務的な課題
- 3) 先行研究

- 4) リサーチクエスチョン
- 5) 方法論
- 6) 用いようとしているデータ(どのように調査しようとしているのか)

4. 注意事項

専門職学位論文は、原則として、公開されます。神戸大学の一員として「神戸大学の学術研究に係る行動規範」を遵守し、研究を進めてください。論文に盗用、剽窃、捏造などの研究不正があった場合、学位が取り消されるなど処分の対象となります。

「神戸大学の学術研究に係る行動規範」

<https://www.kobe-u.ac.jp/ja/research/compliance/regulations/>